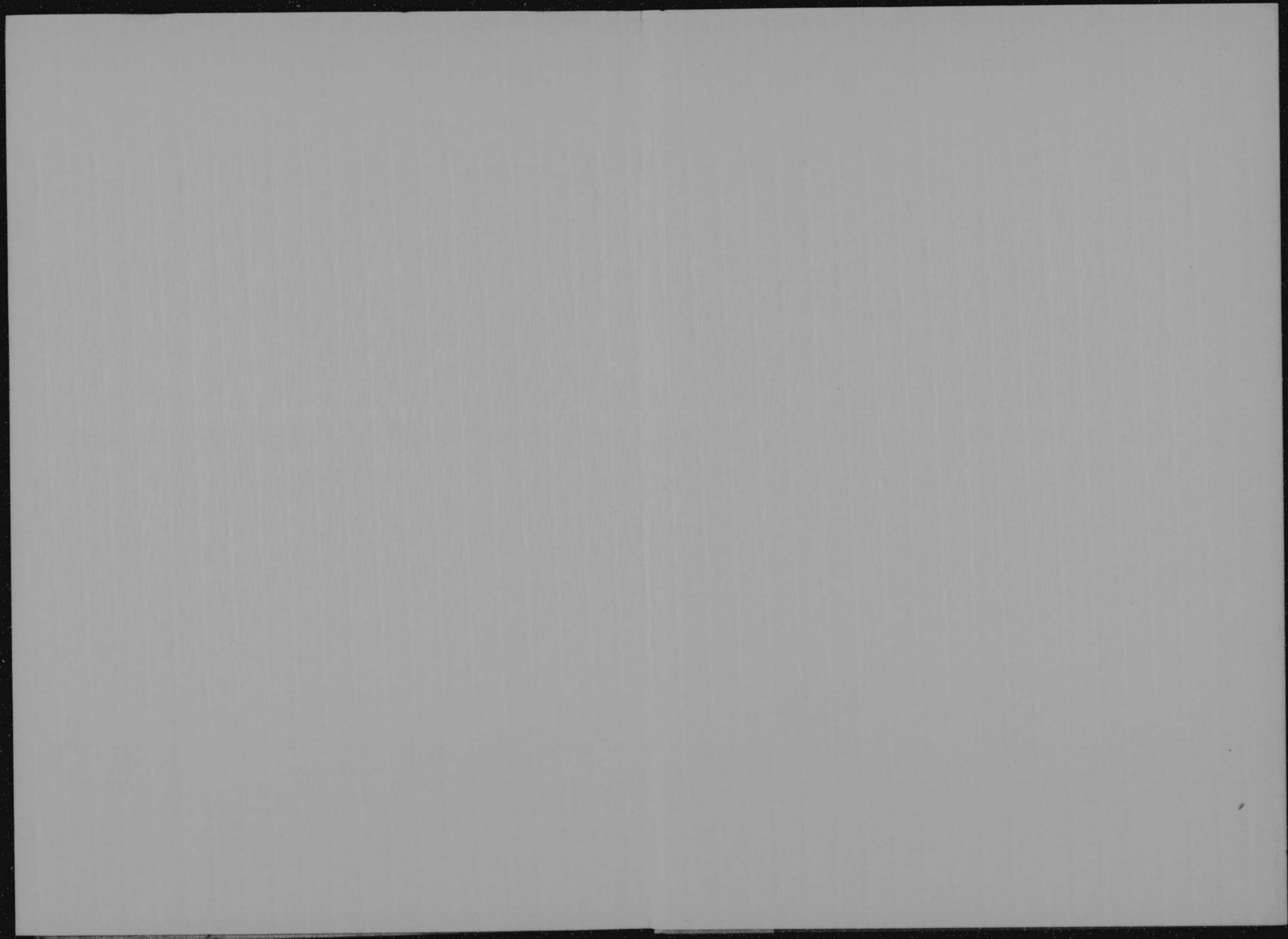


579

490



324 定A

昭和七年度

朝鮮總督府 鐵道局現業員共濟組合事業概況

朝鮮總督府鐵道局庶務課

立憲民政黨
政務調查館

10. 7. 8



定A
324



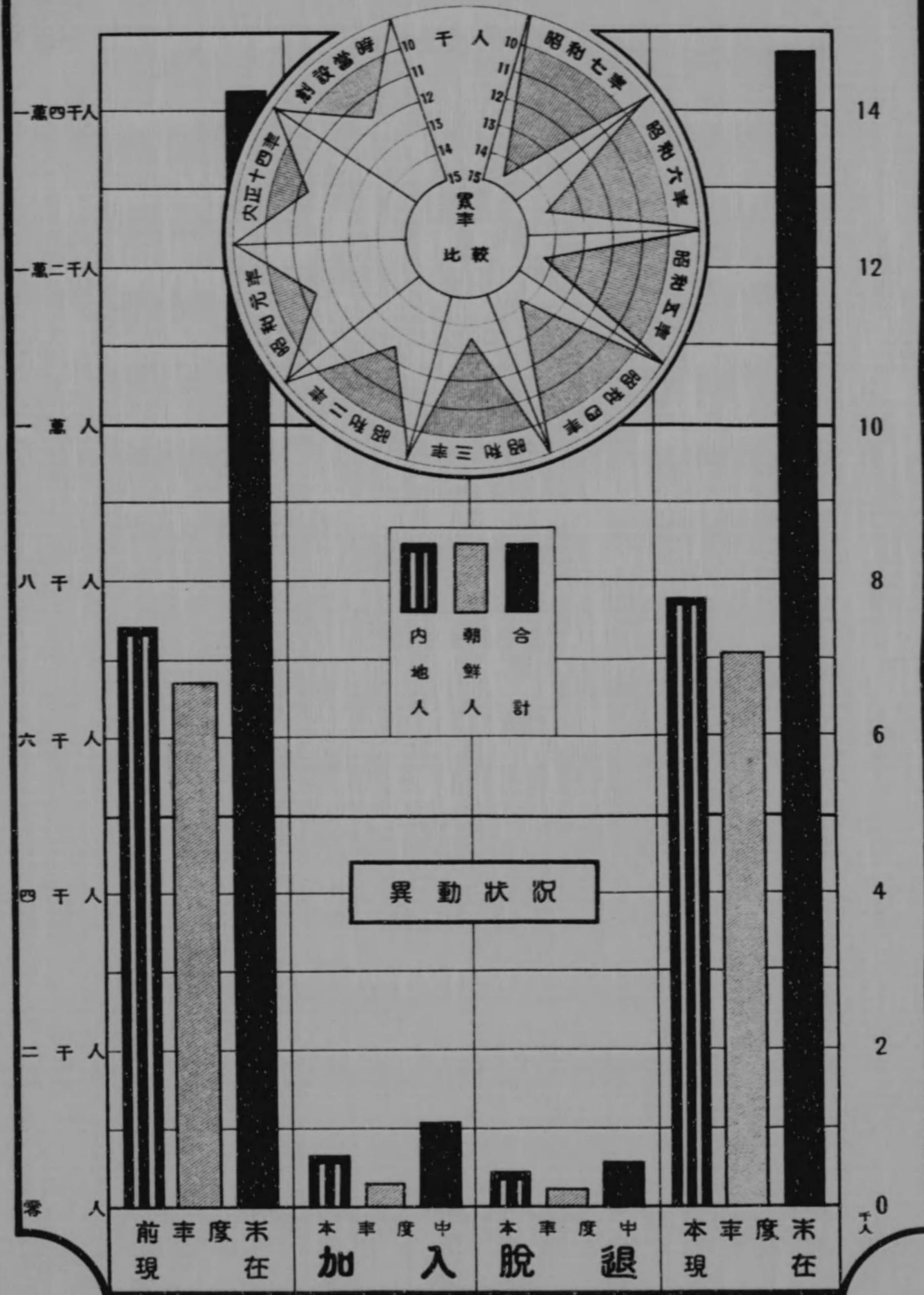
80W27542

昭和七年度組合人員表

一、前年度末現在	一四、二七一
一、本年度中加入	一、〇五八
一、本年度中脫退	五九五
一、本年度末現在	一四、七三四

組合人員狀況

昭和七年度



昭和三十二年製聯合人員表

定A
32
一、前年度末現在
二、本年度中加入
三、本年度中退去
四、本年度末現在

四二二一
一〇五八
五五五
四三三四

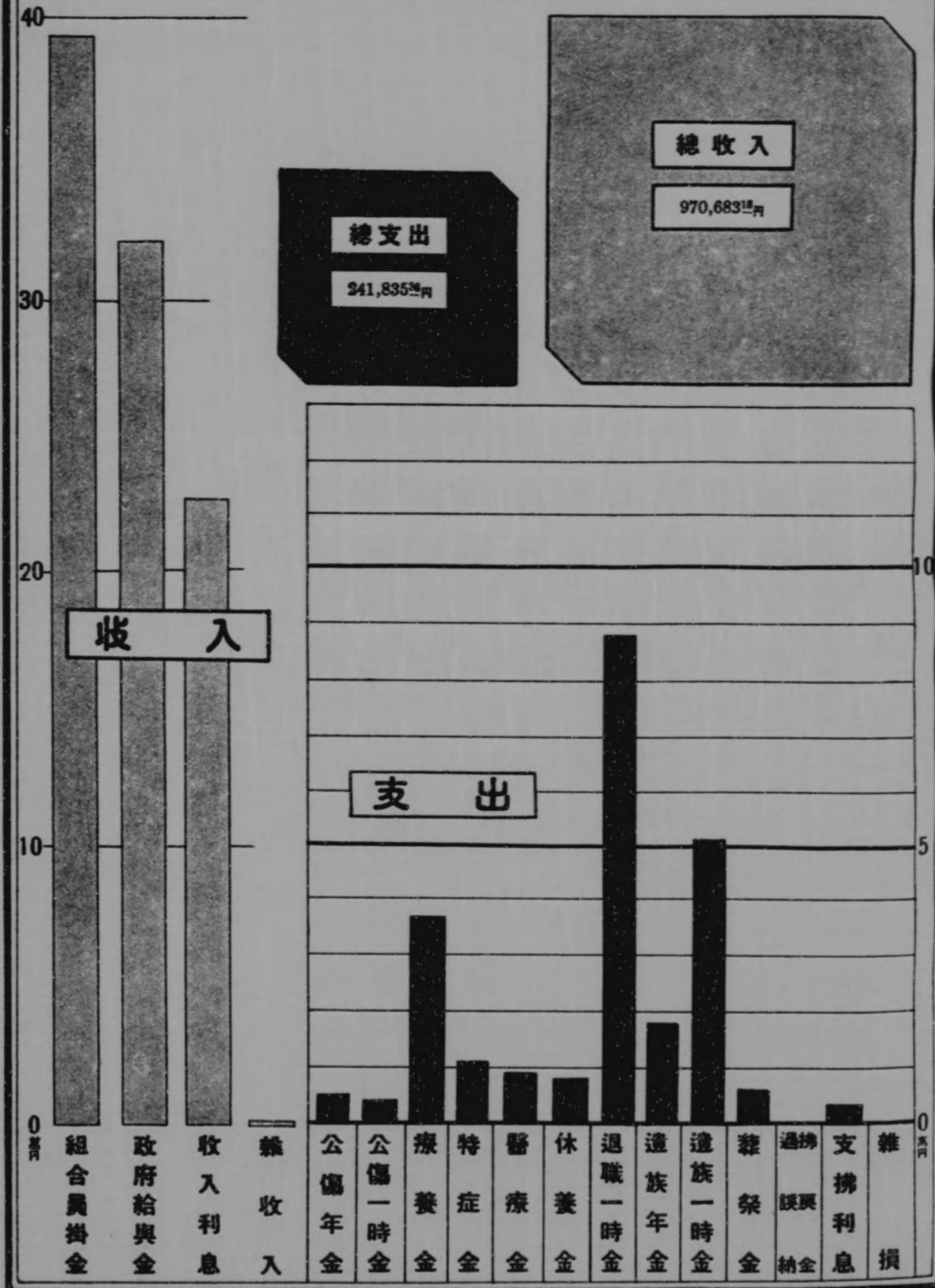
80W27542

昭和七年度收入支出表

(収入ノ部)		(支出ノ部)	
一、政府給與金	三二〇、三七九・六六	一、公傷一時金	五、八〇七・〇〇
一、組合員掛金	三九四、〇〇一・三九	一、公傷一時金	三、六九五・二〇
一、收入利息	二五五、九一六・八八	一、療養金	三七、九七〇・一〇
一、雑収入	三八五・二五	一、特症金	一一、〇二一・六四
合 計	九七〇、六八三・一八	一、醫療金	九、四三三・五〇
		一、休養金	八、七〇九・四四
		一、退職一時金	八六、九一〇・九四
		一、遺族一時金	一七、二六九・四二
		一、遺族一時金	五〇、六〇七・七一
		一、葬祭金	六、八二〇・四二
		一、過誤納拂戻金	六三・六六
		一、支拂利息	三、四七八・一九
		一、雑損	四八・一四
		合 計	二四一、八三五・三六

共濟收支

昭和七年度



組合員平均支出表

Category	Item	Amount (Yen)
Income (收入)	組合員掛金	320,332.66
	政府給與金	334,001.33
	利息	255,349.88
Expenses (支出)	公傷年金	5,803.00
	公傷一時金	3,635.20
	療養金	33,000.00
	特症金	11,021.64
	醫療金	11,021.64
	休養金	11,021.64
	退職一時金	243,333.33
	遺族年金	8,303.44
	遺族一時金	16,611.04
	葬祭金	1,263.42
	遺拂戻金	1,263.42
	支拂利息	682.42
	雑損	0
Total	合計	241,835.36
	平均	48.37

昭和七年朝鮮總督府鐵道局現業員共濟組合事業概況目次

立憲民政黨
政務調査館

第一 組織及内容の概要.....一
第二 組合員.....四

共濟組合現在人員表
共濟組合員増減表
共濟組合所屬系統別在職年數別表
共濟組合員年齡別表
 (イ) 組合員出生年號別増減並百分率
 (ロ) 組合員年齡別増減並百分率
 (ハ) 女子組合員年齡別
 (ニ) 組合員所屬系統別増減並現在平均年齢
共濟組合員加入並脱退人員表の一
共濟組合員加入並脱退人員表の二
共濟組合員年度別加入脱退人員表
共濟組合員所屬系統別傷病別死因表
共濟組合員年齡別傷病別死因表
共濟組合員傷病類別死亡者増減表

第三

掛金
共済組合員勤務所別死亡率表
共済組合員勤務所別勤務人員に對する死亡率表

二〇

第四

政府給與金
共済組合給料總額並政府給與金所屬系統別表
政府給與金年度別受入表

三三

第五

給付
共済組合給付種類別所屬系統別表
共済組合給付種類別前年度比較増減表
公傷一時金給付表
年度別年金額調表
療養給付に對する傷病類別調表
疾病給付に對する傷病類別調表
醫療費用に對する醫療金給付率表
各給付金の給料總額に對する千分率表
共済組合給付金年度別表
各給付金平均表

三五

第六

資産及負債

五四

第七

收入

五五

第八

支出

五七

第九

收支勘定

六一

第十

責任準備金

六三

第十一

組合財産の管理

六七

第十二

附帶事業

六八

- (一) 貯金部
- (二) 金融部
- (三) 消費部
- (四) 授産部

三

昭和七年 朝鮮總督府鐵道局現業員共濟組合事業概況

第一 組織及内容の概要

本組合は大正十四年四月一日鐵道局設置と同時に勅令第一一六號に基き創設せられたるものにして鐵道局内の鐵道手及雇員以下の現業員は就職と同時に甲種組合員として當然組合に加入し其の他の職員は希望に依り局長の承認を経て乙種組合員として任意加入するものごしたり

甲種組合員は毎月給料月額百分の六、乙種組合員は百分の七又は十一に相當する金額を掛金として組合に支拂ひ政府は組合に對し毎月甲種組合員の給料月額百分の五相當額を給與す

組合は前記組合員掛金、政府給與金及收入利息を資金として組合員に左記各種の給付を爲す

一、公傷給付 職務執行上傷痍を受け又は疾病に罹り不具廢疾となりたるごき其の程度に依り第一等より第四等の四種に分ち第一等及第二等には給料

二
四箇月分以上九箇月分以内の年金第三等第四等には給料一箇月分以上一年六箇月分以内の一時金

二、療疾給付 職務執行上起因せざる傷痍又は疾病の爲め不具療疾となり退職したるときは加入後十年を経過したるものに對し其程度に依り第一等第二等に分ち給料三箇月分以上六箇月分以内の療疾年金
又加入後一年以上のもの肺結核に罹り若は同一業務に三年以上繼續勤務したるものにして職業的疾患に罹り職務に堪へざるに給料三箇月分以上一年分以内の特症金(一時金)

三、療養給付 職務執行上傷痍を受け又は疾病に罹り療養を要するに其の療養に必要な相當の額

四、疾病給付 職務執行上起因せざる傷痍を受け又は疾病に罹りたるに醫療を受け六日目より入院に對しては一日一圓以内、入院にあらざるものに對しては一日十錢以内の醫療金
前項に依り休養し給料の支給を受けざるに至りたるに五日目より給料の半額以内の休養金

五、退職給付 組合加入後十五年を経過したる退職者に對し給料年額四分の一の年金但し加入後十五年を経過後は一年を経過する毎に給料年額の百分の一を加算す

前項年金を受くるに至らずして脱退したるとき加入後一年を経過したる者に對しては給料二十日分以後六箇月経過毎に給料十日分を加算したる額を一時金として給與す但し其の額が甲種組合員としての掛金額に達せざるときは之を甲種組合員としての掛金額に切上ぐ

加入後一年以上のもの自己の便宜に因り退職したるものに對しては前項に依り計算したる額の八割額、此の場合に於ては前項但書は適用せず

六、遺族給付 職務執行上傷痍を受け又は疾病に罹り死亡したるとき給料四箇月分の年金但し加入後十五年を経過したる者なるときは給料五箇月の年金及給料三箇月分の葬祭金

職務執行上起因せざる傷痍疾病の爲め死亡したるときは給料六箇月分以上一年六箇月分以内の一時金及給料一箇月分の葬祭金

本組合は附帶事業として本組合創設と同時に貯金部、金融部、消費部、授産部の各

共濟組合員增減表

種別	甲種		乙種		計
	朝鮮人	内地人	朝鮮人	内地人	
本年	七,〇〇六	七,〇〇六	五	一八一	一四,七三二
昭和六年	六,八八五	六,八八五	二	一三三	一四,七三二
昭和五年	六,九〇〇	六,八三三	二	一〇一	一四,七三二
昭和四年	六,八三三	六,四七四	一	八六	一四,七三二
昭和三年	五,八五五	五,八五五	一	七〇	一四,七三二
昭和二年	五,五〇〇	五,五〇〇	一	七〇	一四,七三二
昭和元年	五,三八五	五,三八五	一	七〇	一四,七三二
大正十年	五,三八五	五,三八五	一	七〇	一四,七三二
大正九年	五,三八五	五,三八五	一	七〇	一四,七三二
大正八年	五,三八五	五,三八五	一	七〇	一四,七三二
大正七年	五,三八五	五,三八五	一	七〇	一四,七三二
大正六年	五,三八五	五,三八五	一	七〇	一四,七三二
大正五年	五,三八五	五,三八五	一	七〇	一四,七三二
大正四年	五,三八五	五,三八五	一	七〇	一四,七三二
大正三年	五,三八五	五,三八五	一	七〇	一四,七三二
大正二年	五,三八五	五,三八五	一	七〇	一四,七三二
大正元年	五,三八五	五,三八五	一	七〇	一四,七三二
創設當時	六,一六七	六,一六七	一	七〇	一四,七三二
比較	三〇〇	三〇〇	三	四九	一四,七三二
較增	一〇〇	一〇〇	三	七九	一四,七三二
較減	一八三	一八三	四	九五	一四,七三二
計	七,〇〇六	七,〇〇六	五	一八一	一四,七三二

共濟組合員所屬系統別在職年數別表 (昭和八年三月末日現在)

種別	甲種		乙種		計
	朝鮮人	内地人	朝鮮人	内地人	
一年未滿	八〇〇	一,三〇〇	一,五五〇	一,五五〇	三,〇〇〇
一年以上	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	三,〇〇〇
二年以上	一,五五〇	一,五五〇	一,五五〇	一,五五〇	三,〇〇〇
三年以上	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	三,〇〇〇
四年以上	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	三,〇〇〇
五年以上	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	三,〇〇〇
六年以上	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	三,〇〇〇
七年以上	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇	三,〇〇〇
計	八,〇〇〇	八,〇〇〇	八,〇〇〇	八,〇〇〇	三二,〇〇〇

合 計	乙 種 組 合 員	員								
		計			工 場 系					
		計	鮮	内	計	鮮	内			
七、〇四三	三、四三三	一、五八	三	二五	六、八八五	三、六七	三、二七六	一、二〇四	八五五	三、四九
八五二	三六二	六	一	五	八四五	三〇	四八五	九三	四五	四八
一、一五八	五二九	二	一	二	一、一五六	五九	六七	七九	三六	四三
一、六八二	七九二	五	一	四	一、六八七	七九二	八八六	二五七	一一三	一四五
一、一八六	五九二	七	一	七	一、一七九	五九二	五八七	七三	三二	四二
七三三	三〇八	六	一	六	七二六	三〇八	四〇八	四七	二七	二〇
一、〇九一	四四六	二	一	二	一、〇七〇	四四六	六二四	八一	四四	三七
一、〇一〇	三三三	一	一	一	一、〇一〇	三三三	六七	二六	四二	七四
一四、七五	七、七三	一八六	五	八	一四、五四八	七、〇〇六	七、五四二	一、九五〇	一、一九三	七五八

(イ) 組合員出生年號別増減並百分率

年號別	大正		明治		合計		本年 度末 人員	前年 度末 人員	前年 度比 較増 △減	本年 度末 人員 百分 率
	内 地 人	朝 鮮 人	内 地 人	朝 鮮 人	内 地 人	朝 鮮 人				
計	1,021	376	1,448	376	1,714	850	333	194	100.000	
内 地 人	1,021		1,448		1,714	850	333	194	100.000	
朝 鮮 人		376		376						
合計	1,021	376	1,448	376	1,714	850	333	194	100.000	
内 地 人	7,733		6,602		13,335	7,454	2,622	1,912	47.583	
朝 鮮 人	7,101	6,817	6,572	6,604	13,174	7,454	2,622	1,912	47.583	
合計	14,834	13,634	13,174	13,208	26,382	14,908	5,244	3,824	92.166	

(口) 組合年齢別増減並百分率

年齢別	自十六歳		至十九歳	自二十歳		至二十九歳	自三十歳		至三十九歳	自四十歳
	内地人	朝鮮人		内地人	朝鮮人		内地人	朝鮮人		
本年度末人員	271	4	35	3,410	2,383	5,793	2,355	3,005	5,400	1,176
前年度末人員	266	4	36	3,407	2,437	5,844	2,276	2,948	5,334	1,127
前年度比較増△減	△5	0	△1	3	△54	△51	179	57	106	49
本年度末人員の百分率	1,839	0.199	2,388	23,143	16,166	39,309	16,459	20,395	36,854	7,982

合計	自六十歳		至六十一歳	自五十歳		至五十九歳	自四十九歳	
	内地人	朝鮮人		内地人	朝鮮人		内地人	朝鮮人
本年度末人員	1	1	2	7,733	7,101	12,454	2,559	1,383
前年度末人員	1	1	1	7,454	6,887	12,171	2,644	1,277
前年度比較増△減	0	0	1	279	214	283	△85	106
本年度末人員の百分率	7	7	14	53,166	47,664	100,000	17,388	9,387

合計	内地人	朝鮮人
7,733	7,011	722
7,454	6,827	627
14,771	14,271	500
3,333	2,699	634
3,333	3,333	0

組合加入並脱退人員 本年度中に於て組合に加入したる人員は内地人六百七十五人朝鮮人三百八十八人計一千五十八人にして其の内譯をせば

新規採用したる者

一〇四五

任意加入したる者

非現業員より現業員に轉したる者 一三

而して脱退せる人員は内地人四百一人朝鮮人百九十四人計五百九十五人にして

其内譯は

死亡したる者

一三一

自己の便宜により脱退したる者

二九〇

非自己の便宜により脱退したる者

一七四

更に之を所屬系統別に示せば左表の如し

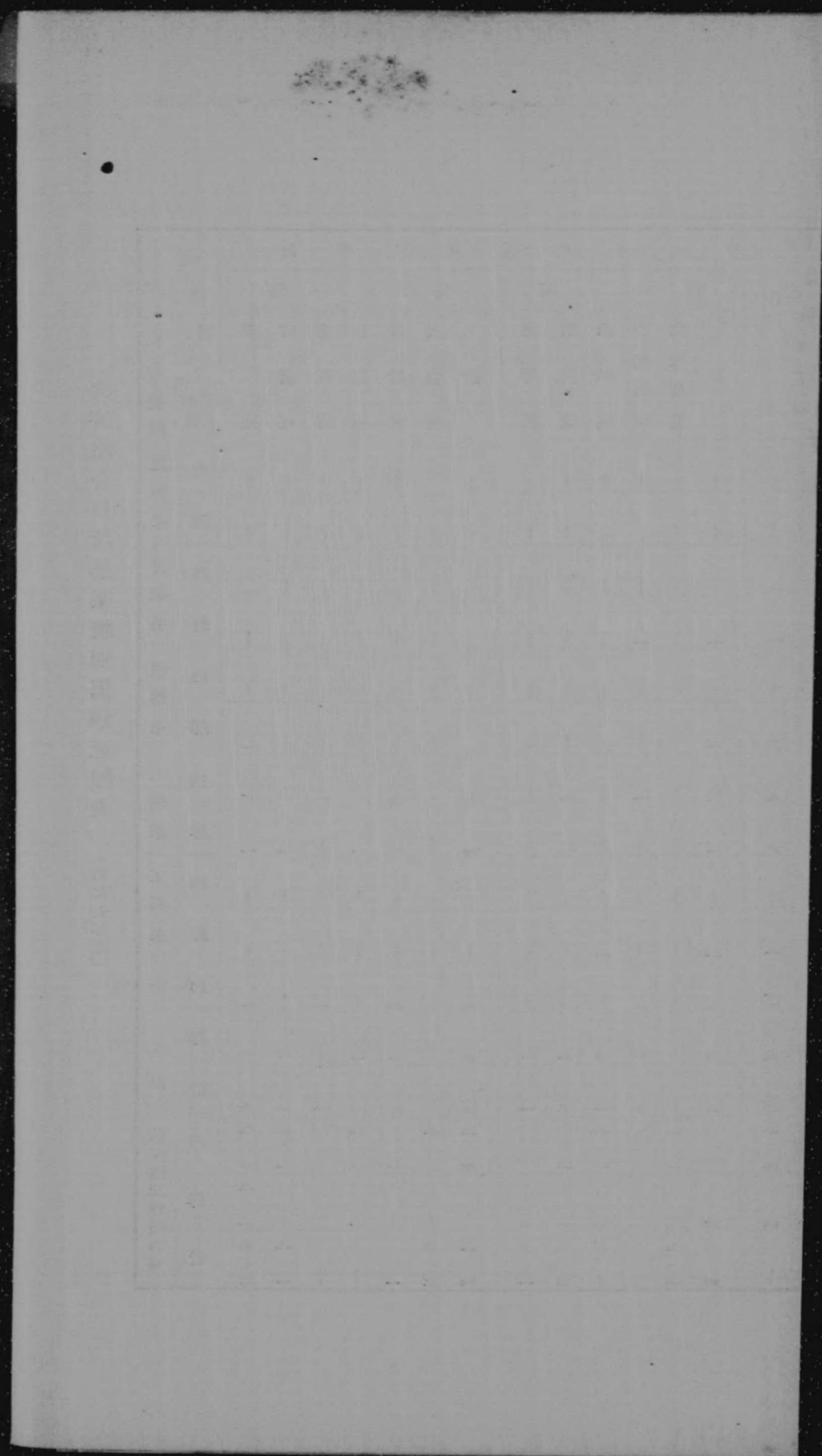
共済組合員加入並脱退人員表の一 (昭和七年度)

系統別	種別		統制	加入人員		脱退人員		加入脱退の差
	内地人	朝鮮人		加入人員	脱退人員			
工務系	内地人	朝鮮人	計	180	164	344	1	181
	計	計		344	1	345		
運輸系	内地人	朝鮮人	計	155	103	258	1	259
	計	計		258	1	259		
營業系	内地人	朝鮮人	計	195	224	419	2	421
	計	計		419	2	421		
庶務系	内地人	朝鮮人	計	56	7	63	1	64
	計	計		63	1	64		
計	内地人	朝鮮人	計	536	500	1,036	5	1,041
	計	計		1,036	5	1,041		

共済組合員年度別加入脱退人員表

年 度 別	加 入 人 員	脱 退 人 員	年 度 末 現 在 人 員	加 入 △ 脱 退 差
組 合 創 設 當 時	1	1	1	0
大 正 十 四 年 度	972	1,561	11,759	△ 600
昭 和 元 年 度	1,559	1,056	11,849	90
昭 和 二 年 度	1,876	1,015	11,650	861
昭 和 三 年 度	2,447	1,155	11,501	1,346
昭 和 四 年 度	1,657	1,011	11,370	1,646
昭 和 五 年 度	943	793	11,338	1,545
昭 和 六 年 度	1,141	1,456	11,485	△ 314
昭 和 七 年 度	1,058	595	11,734	463

組合員死亡状況 本年度中組合員の死亡したる總數は内地人八十人朝鮮人五十一人計百三十一人にして、前年度に比し十二人の増加を示し内傷死亡者内地人十人朝鮮人十二人計二十二人疾病死亡者内地人七十人朝鮮人三十九人計百九人にして其の死因に就き所屬系統別年齢別傷病別等に掲ぐれば左記各表の如し



も		る		さ		せ		因		基		に		務		公		の		も		る		す		因		基		に		務		公		死			
泌尿	病	器	化	消	病	器	吸	呼	器	環	循	病	系	經	神	病	染	傳	疾	傷	合	病	疾	疾	傷	傷	傷	傷	傷	傷	傷	傷	傷	傷	傷	傷	傷		
腎	計	黃	胃	腸	腸	膽	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹	腹
炎	疳	潰	瘍	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒	兒
																																						六五	
																																						五五	
																																						四五	
																																						三五	
																																						二五	
																																						一五	
																																						〇五	
																																						九四	
																																						八四	
																																						七四	
																																						六四	

共濟組合員年齢別傷病

前表中の死亡者を更に前年に比し其の増減状況を観るに左の如し

共済組合員傷病類別死亡者増減表 (昭和七年度)

病 類 別	本 年 度 人 員	前 年 度 人 員	前 年 度 比 較 増 減
傷 疾	三	二	一
傳 染 病	四	三	一
神 經 系 病	二	七	一
循 環 器 病	六	五	一
呼 吸 器 病	二	三	一
消 化 器 病	九	六	三
泌 尿 生 殖 器 病	三	三	〇
新 生 物 病	一	五	四
其 他	一	一	〇
計	三三	二九	四

今死亡者全員に對する其死亡原因たる傷疾疾病の割合を觀るに傷疾死亡者一割七分疾病死亡者八割三分を占む

更に之か死因を公務と非公務とに細別すれば傷疾死亡者に在りては公務に基

因するもの一割八厘公務に基因せざるもの六分二厘又疾病死亡者に在りては公務に基因するもの四分五厘公務に基因せざるもの七割八分五厘に當れり
 此等疾病死亡者に就き病類別に觀察すれば疾病死亡者總數に對し傳染病四割四厘、呼吸器疾患二割二分、消化器疾患一割七分四厘、神経系疾患一割一厘、循環器疾患五分五厘、泌尿生殖器疾患二分八厘、其他は合して一分八厘に相當す而して右病類中最多數を占むるは肺結核の二十五人にして疾病死亡者總數百九人に對し其の二割二分九厘を占め次に腸窒扶斯十三人一割一分九厘、肺炎十一人一割一厘、肋膜炎腹膜炎は七人六分四厘、腦溢血、胃腸加答兒は各四人にして三分七厘に當れり
 死亡状況を公務傷死死亡非公務傷死死亡及傳染病、呼吸器病、消化器病等に分ち各勤務所員別に人員並百分率を示せば左表の如し

共済組合員勤務所別死亡率表 (昭和七年度)

勤務所員別	公務			非公務			公務			非公務			計
	傷病死	其他	小計	傷病死	傳染病死	神經系病死	呼吸器病死	消化器病死	其他	小計	計		
職員	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	11		
機關區員	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	11		
保線區員	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	11		
工場員	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	11		
其他員	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	11		
計	5	5	10	5	5	5	5	5	5	10	55		

共済組合員勤務所別勤務人員に對する死亡率表 (昭和七年度)

勤務所員別	公務			非公務			公務			非公務			計
	傷病死	其他	小計	傷病死	傳染病死	神經系病死	呼吸器病死	消化器病死	其他	小計	計		
職員	10.000%	10.000%	20.000%	10.000%	10.000%	10.000%	10.000%	10.000%	10.000%	20.000%	110.000%		
機關區員	10.000%	10.000%	20.000%	10.000%	10.000%	10.000%	10.000%	10.000%	10.000%	20.000%	110.000%		
保線區員	10.000%	10.000%	20.000%	10.000%	10.000%	10.000%	10.000%	10.000%	10.000%	20.000%	110.000%		
工場員	10.000%	10.000%	20.000%	10.000%	10.000%	10.000%	10.000%	10.000%	10.000%	20.000%	110.000%		
其他員	10.000%	10.000%	20.000%	10.000%	10.000%	10.000%	10.000%	10.000%	10.000%	20.000%	110.000%		
計	10.000%	10.000%	20.000%	10.000%	10.000%	10.000%	10.000%	10.000%	10.000%	20.000%	110.000%		

前年度比較増△減	政府給與金年度別受入表				
	營業系	運轉系	工務系	工場系	合計
△ 三六五	一、八五六、一七〇・六	一、四七〇、〇四二・四	九二、八〇八・五	三、五三二・四	一、七六
△ 一七、三二二	一、九七〇、六七六・五	七四、八五二・三	九八、五三三・八	四〇・三	二、〇一
△ 二五、七〇〇	九、九九五二・六	四六、九七五・六	三九、五六三・八	三、五六	一、九八
△ 一七、三二二	六、四七〇、五九四・七	三〇、三七九・六	三、〇一〇	一、八五	一、八五
△ 一四、三〇四・三	七、五二二・二	七、五二二・二	七、五二二・二	七、五二二・二	七、五二二・二

三四

年度別	所屬系統別					合計	平均一人額
	延人員	金額	延人員	金額	延人員		
大正十四年度	四、〇〇〇	七、三三〇、七七	三、七、八二	六、八、二九	四、八、三、八〇	三、六、六	二、四三、九九・七四
昭和元年度	四、〇〇〇	七、三三〇、七七	三、七、八二	六、八、二九	四、八、三、八〇	三、六、六	二、四三、九九・七四
昭和二年度	四、〇〇〇	七、三三〇、七七	三、七、八二	六、八、二九	四、八、三、八〇	三、六、六	二、四三、九九・七四
昭和三年度	四、〇〇〇	七、三三〇、七七	三、七、八二	六、八、二九	四、八、三、八〇	三、六、六	二、四三、九九・七四
昭和四年度	四、〇〇〇	七、三三〇、七七	三、七、八二	六、八、二九	四、八、三、八〇	三、六、六	二、四三、九九・七四

年度別	所屬系統別					合計	平均一人額
	延人員	金額	延人員	金額	延人員		
昭和五年度	四、〇〇〇	七、三三〇、七七	三、七、八二	六、八、二九	四、八、三、八〇	三、六、六	二、四三、九九・七四
昭和六年度	四、〇〇〇	七、三三〇、七七	三、七、八二	六、八、二九	四、八、三、八〇	三、六、六	二、四三、九九・七四
昭和七年度	四、〇〇〇	七、三三〇、七七	三、七、八二	六、八、二九	四、八、三、八〇	三、六、六	二、四三、九九・七四
合計	三、七、三三〇	六、八、二九	三、七、三三〇	六、八、二九	三、七、三三〇	六、八、二九	三、七、三三〇

第五給付

本年度中に於て給與したる人員並に金額は内地人一千九百五十七人、十五萬五千三百三十五圓四錢、朝鮮人一千七百五十六人、八萬二千九百十圓三十三錢、計三千七百十三人、二十三萬八千二百四十五圓三十七錢にして前年度に比し人員に於ては百五人の増加を金額に於ては二萬三千七百四圓五十五錢の減少を示し収入總額に對し其の二割四分五厘強に當れり

本年度末現在に於て年金給付を受くるもの百六十一人此の金額二萬五千二百六圓一人平均額百五十九圓六十六錢にして内公傷年金三十五人六千六百六十二圓一人平均額百七十六圓六錢、遺族年金百二十六人一萬九千四百四圓一人平均額百五十一圓十四錢なり組合創立後未だ八年に過ぎざるを以て退職年金、療疾年金の

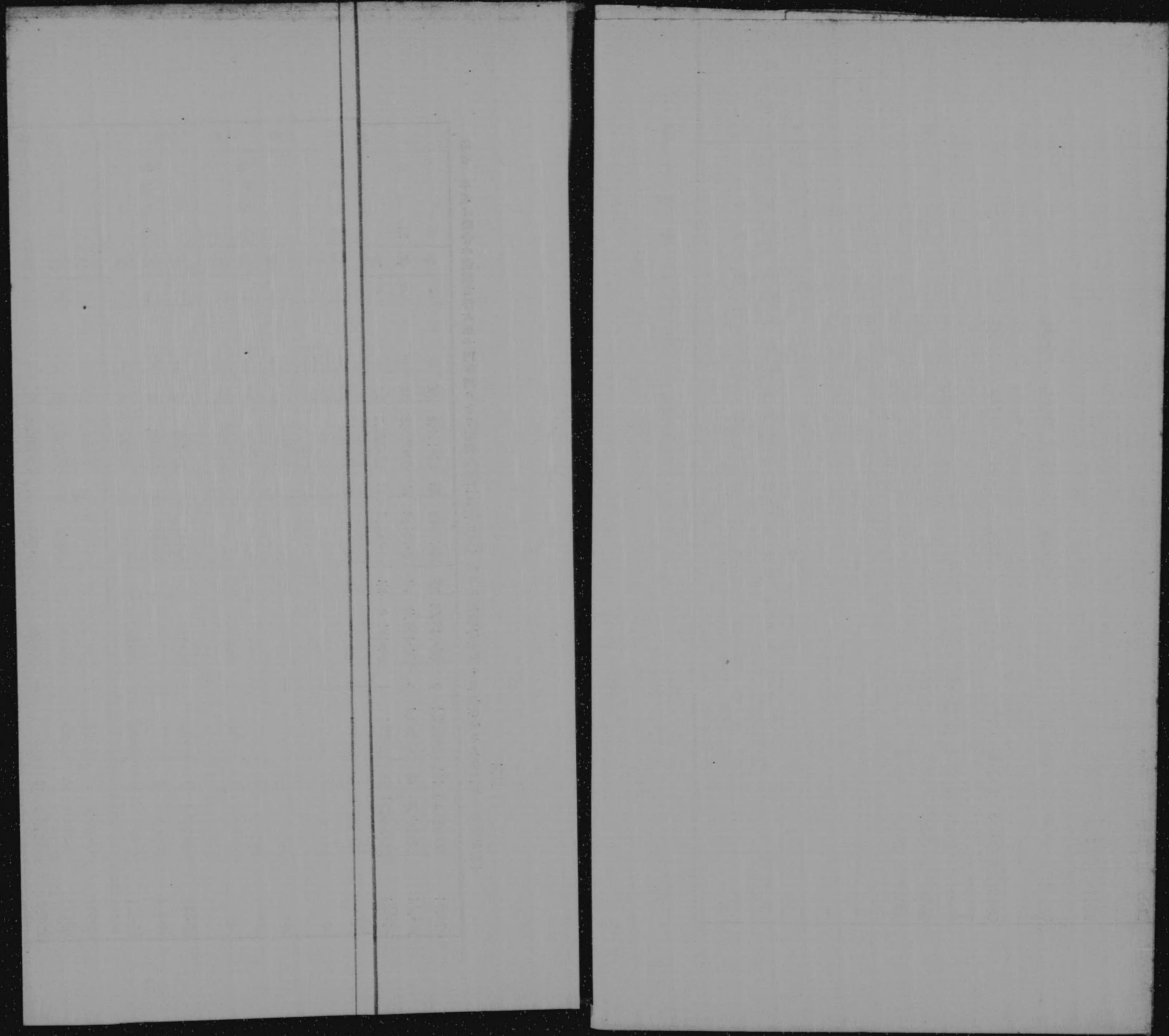
受給該當者なく年金受給者中受給権止みたるものは公傷年金に於て一件遺族年金に於て二件を見るのみ本年度中の新規年金受給者は公傷年金は四人金額六八八圓遺族年金は十九人金額二千九百五十二圓計二十三人三千五百六十四圓一人平均額百五十四圓七十八錢にして前年度に比し公傷年金に於て人員二人金額五百八十七圓一人平均額四十七圓十七錢減少し遺族年金に於ては人員に増減なく金額に四百三十二圓一人平均額に二十二圓七十三錢の減少を見たり

今給付金に就き各方面に亘り觀察を爲すに左記各表の如し

所屬系統別表 (昭和七年度)

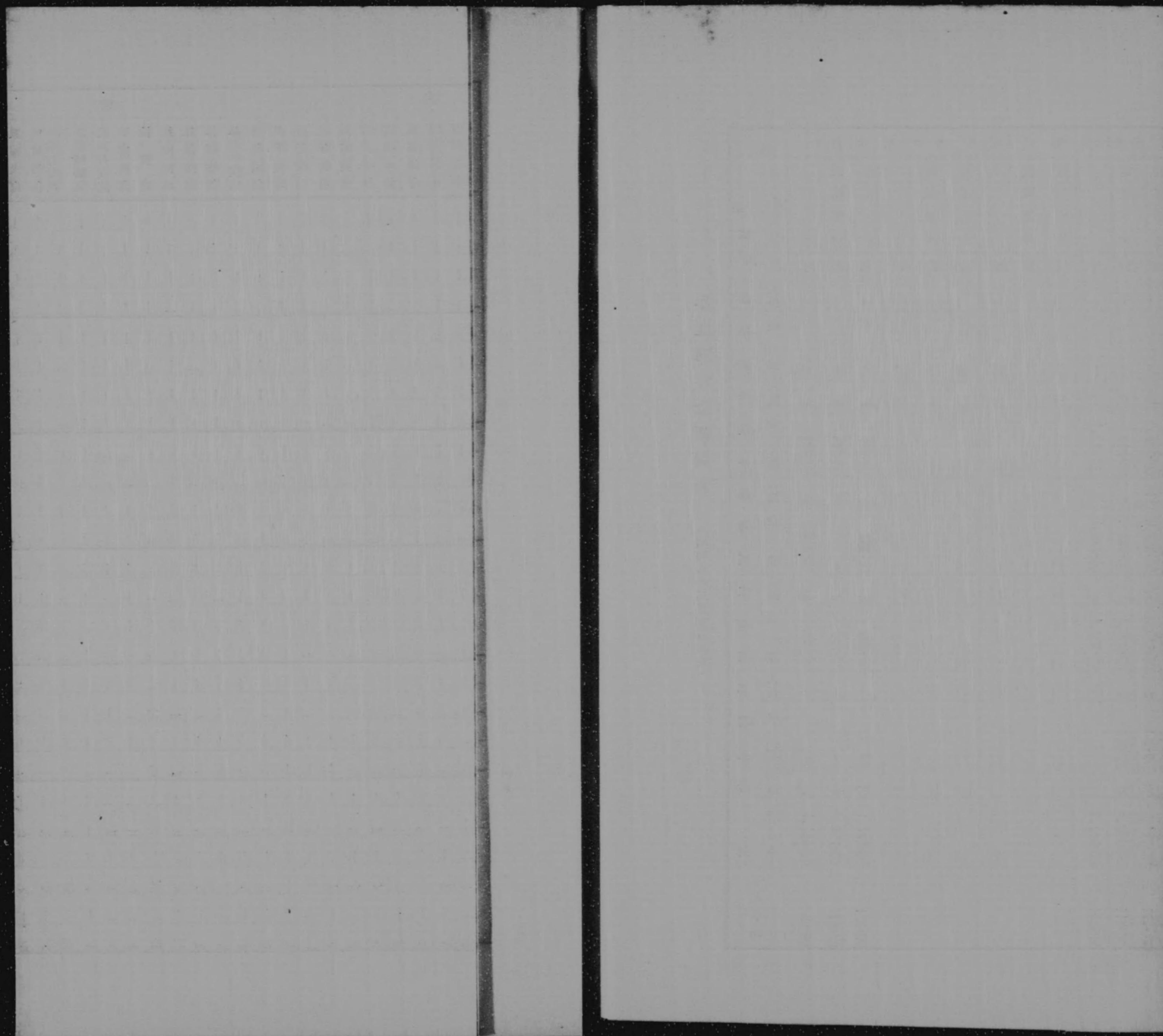
共済組合給付種別前年度比較増減表 (昭和七年度)

給付科目別 人員及金額	給		付		前年度に比し増△減額	
	人員	金額	一人當金額	人員	金額	額
公傷年金	三五	五,〇七〇.〇〇	一六五.九一	四	九一五.三三	△
公傷一時金	二六	三,六九五.三〇	一四三.二二	九	二,五八八.八六	△
療養金	一六五	三七,九七〇.一〇	二二,八九	九六	五,〇六六.一五	△
療疾年金	—	—	—	—	—	—
特症金	四三	一一,〇二一.六四	二六二.四三	二	一,四八〇.二二	△
醫療金	四五七	九,四三三.五〇	二〇.六五	二六	六四九.七〇	△
休養金	三六三	八,七〇九.四四	二三.九九	七	七七一.四六	△
退職年金	—	—	—	—	—	—
退職一時金	八二	八六,九〇〇.九四	一〇七.一七	四一	三,八八〇.六五	△
遺族年金	一三三	一七,一六九.四三	一三〇.四〇	一五	三,四三三.一六	△
遺族一時金	一一〇	五〇,〇七七.七一	四〇.〇七	三	四,四三五六.七	△
葬祭金	一三一	六,八〇〇.四三	五三.〇六	六	一四,一二	△
計	三七一三	二三八,一四三.三七	一,三九七.六八	一〇五	二一,七〇五.五五	△



備考 本表は組合の創設當時大正十四年四月より昭和八年三月末日までに年金證書を交付し且現存せる人員及其年金額を示す

計 合					昭 和 七 年 度 決 裁					昭 和 六 年 度 決 裁					昭 和 五 年 度 決 裁		
合 計	遺 族 年 金	退 職 年 金	癩 疾 年 金	公 傷 年 金	合 計	遺 族 年 金	退 職 年 金	癩 疾 年 金	公 傷 年 金	合 計	遺 族 年 金	退 職 年 金	癩 疾 年 金	公 傷 年 金	合 計	遺 族 年 金	退 職 年 金
計 鮮 内	計 鮮 内	計 鮮 内	計 鮮 内	計 鮮 内	計 鮮 内	計 鮮 内	計 鮮 内	計 鮮 内	計 鮮 内	計 鮮 内	計 鮮 内	計 鮮 内	計 鮮 内	計 鮮 内	計 鮮 内	計 鮮 内	計 鮮 内
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
七,二一〇,〇〇	二,六八〇,〇〇	四,四三〇,〇〇	四,五九〇,〇〇	二,五八〇,〇〇	二,五八〇,〇〇	二,五八〇,〇〇	二,五八〇,〇〇	二,五八〇,〇〇	二,五八〇,〇〇	二,五八〇,〇〇	二,五八〇,〇〇	二,五八〇,〇〇	二,五八〇,〇〇	二,五八〇,〇〇	二,五八〇,〇〇	二,五八〇,〇〇	二,五八〇,〇〇
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
六,三三〇,〇〇	二,六八〇,〇〇	四,〇五〇,〇〇	四,六四〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇
三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
一〇,五四〇,〇〇	三,三六〇,〇〇	八,一九〇,〇〇	八,九四〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇	一,〇八〇,〇〇
九	八	一	七	一	二	一	一	一	一	二	二	一	一	一	一	一	一
一,〇〇〇,〇〇	一,〇七〇,〇〇	三〇,〇〇	九六七,〇〇	三三六,〇〇	一〇六,〇〇	九六,〇〇	一〇,〇〇	一〇,〇〇	一〇,〇〇	二七〇,〇〇	二七一,〇〇	一六五,〇〇	一六五,〇〇	一〇六,〇〇	三三〇,〇〇	三三〇,〇〇	三三〇,〇〇
三	七	〇	三	一	三	九	一	一	二	二	九	一	二	二	二	二	二
三,二〇〇,〇〇	一,九〇〇,〇〇	一,〇〇〇,〇〇	三,五〇〇,〇〇	六,一〇〇,〇〇	三,五〇〇,〇〇	一,〇〇〇,〇〇	一,〇〇〇,〇〇	一,〇〇〇,〇〇	一,〇〇〇,〇〇	四,五〇〇,〇〇	四,五〇〇,〇〇	三,一〇〇,〇〇	三,一〇〇,〇〇	一,一九五,〇〇	四,〇四〇,〇〇	一,八〇九,〇〇	二,三三〇,〇〇
一五九,六六	二五二,二七	一八三,一七	一五二,一四	一四七,六七	一七六,〇六	一五九,七八	一五九,三六	一五九,三六	一五九,三六	一五九,三六	一五九,三六	一五九,三六	一五九,三六	一五九,三六	一五九,三六	一五九,三六	一五九,三六



Year	Month	Day	Temperature	Humidity	Wind	Clouds	Notes
1911	Jan	1	65	75	SE	10	
1911	Jan	2	68	78	SE	15	
1911	Jan	3	70	80	SE	20	
1911	Jan	4	72	82	SE	25	
1911	Jan	5	75	85	SE	30	
1911	Jan	6	78	88	SE	35	
1911	Jan	7	80	90	SE	40	
1911	Jan	8	82	92	SE	45	
1911	Jan	9	85	95	SE	50	
1911	Jan	10	88	98	SE	55	
1911	Jan	11	90	100	SE	60	
1911	Jan	12	92	100	SE	65	
1911	Jan	13	95	100	SE	70	
1911	Jan	14	98	100	SE	75	
1911	Jan	15	100	100	SE	80	
1911	Jan	16	100	100	SE	85	
1911	Jan	17	100	100	SE	90	
1911	Jan	18	100	100	SE	95	
1911	Jan	19	100	100	SE	100	
1911	Jan	20	100	100	SE	100	
1911	Jan	21	100	100	SE	100	
1911	Jan	22	100	100	SE	100	
1911	Jan	23	100	100	SE	100	
1911	Jan	24	100	100	SE	100	
1911	Jan	25	100	100	SE	100	
1911	Jan	26	100	100	SE	100	
1911	Jan	27	100	100	SE	100	
1911	Jan	28	100	100	SE	100	
1911	Jan	29	100	100	SE	100	
1911	Jan	30	100	100	SE	100	
1911	Jan	31	100	100	SE	100	

Year	Month	Day	Temperature	Humidity	Wind	Clouds	Notes
1911	Jan	1	65	75	SE	10	
1911	Jan	2	68	78	SE	15	
1911	Jan	3	70	80	SE	20	
1911	Jan	4	72	82	SE	25	
1911	Jan	5	75	85	SE	30	
1911	Jan	6	78	88	SE	35	
1911	Jan	7	80	90	SE	40	
1911	Jan	8	82	92	SE	45	
1911	Jan	9	85	95	SE	50	
1911	Jan	10	88	98	SE	55	
1911	Jan	11	90	100	SE	60	
1911	Jan	12	92	100	SE	65	
1911	Jan	13	95	100	SE	70	
1911	Jan	14	98	100	SE	75	
1911	Jan	15	100	100	SE	80	
1911	Jan	16	100	100	SE	85	
1911	Jan	17	100	100	SE	90	
1911	Jan	18	100	100	SE	95	
1911	Jan	19	100	100	SE	100	
1911	Jan	20	100	100	SE	100	
1911	Jan	21	100	100	SE	100	
1911	Jan	22	100	100	SE	100	
1911	Jan	23	100	100	SE	100	
1911	Jan	24	100	100	SE	100	
1911	Jan	25	100	100	SE	100	
1911	Jan	26	100	100	SE	100	
1911	Jan	27	100	100	SE	100	
1911	Jan	28	100	100	SE	100	
1911	Jan	29	100	100	SE	100	
1911	Jan	30	100	100	SE	100	
1911	Jan	31	100	100	SE	100	

醫療費用に對する醫療金給付率表 (昭和七年度)

種別	系統別	醫療費用		醫療金		給付率	
		總計	直接費	間接費	給付額	直接費に對する醫療金給付率	醫療總費に對する醫療金給付率
庶務系	一、八五三	四一	二、三九八・八五	二五・三〇	五六九・八〇	・二五六	・二五三
營業系	二〇、三六八	三三六	一五、六六〇・八	六八・五六	三、九四六・五〇	・三五三	・二四二
運轉系	五、九三三	一四	八、四〇八・二	二九・〇六	二、一七〇・〇	・二五八	・二四九
工場系	四、三三七	八五	六、三九五・五五	四五・五四	一、六〇三・八〇	・二五三	・二五三
合計	二五、九四〇	五四五	三六、九〇〇・四四	一、七七・七二	三八、六八二・六	九、四三・五〇	・二四四

各給付金の給料総額に對する千分率表 (昭和七年度)

種別	金額	千分率	種別		金額	千分率
			金額	千分率		
公傷年金	五、〇七、〇〇〇	〇・九六	退職年金	—	—	—
公傷一時金	三、六九五、二〇〇	〇・五七七	退職一時金	八六、九〇、九四四	—	一三、五六四
療養金	九、五〇三、二〇〇	一、四八三	遺族一時金	八六、九〇、九四四	—	一三、五六四
療養計	三七、九七〇、一〇〇	五、九三六	遺族年金	一七、二六九、四三三	—	二、六九五
特種療養金	—	—	遺族一時金	五〇、〇七、七七一	—	七、八九八
特種療養計	—	—	葬祭金	六、八〇〇、四三三	—	一、〇六五
疾病療養金	九、四三三、五〇〇	一、四七二	合計	七四、六九七、五五五	—	一一、六五八
疾病療養計	八、七〇九、四四四	一、三五九	合計	二三八、二四五、三七七	—	三七、一八三
疾病療養計	一八、一四二、九四四	二、八三一				

備考 給料総額は六百四十四萬七千五百九十四圓四十七錢なり

年度	人員	金額	人員	金額	合計	金額
昭和六年度	三三	四、八九一、六七	三五	五、八〇七、〇〇	三三	一九、二六一、四七
昭和七年度	三五	六、二八四、〇六	二六	三、六九五、〇〇	一七	三、五七六、六六
合計	六六	一〇、一七五、七三	六一	九、四六二、〇〇	三三	五、一八九、一三

共濟組合

給付料目別	年度別	
	大正十四年度	昭和
人員及金額	人員	金額
公傷年金	1	1
公傷一時金	9	3
計	10	4
療養金	1,269	1,288
療養一時金	1,269	1,288
計	1,269	1,288
療養年金	1	1
特症金	1	3
計	1	4
醫療金	360	34
休養金	259	32
計	619	66
退職年金	1	1
退職一時金	773	79
計	774	80
遺族年金	14	15
遺族一時金	69	75
葬祭金	83	9
計	166	99
合計	3,366	2,777

各給付金平均表 (昭和七年度)

年 度 別	一 箇 月 平 均										人 員
	大正十四年度	昭和元年度	昭和二年度	昭和三年度	昭和四年度	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度	平均	大正十四年度	
公傷給付	七四・七八	三九・四一	六〇・〇一	五九・五一	四三・七二	四三・三二	四三・三二	五九・八五	五五・六六	三	一三四・六八
療養給付	九七・三六・七七	一〇七・四六・三四	一〇〇・九六・二七	五二・二六・四六・四	四三・七二	四三・三二	四三・三二	二九・二四・九・六七	二九・二四・九・六七	三	二〇・四八
殺疾給付	—	一〇五・三五	—	九五・九〇	三三・五・九〇	五・一〇・五九	四・一〇・四・四	九八・四七	六〇・五〇	三	一八・八四
疾病給付	五二・一七・五九	四一・〇六・三九	六二・二八・五七	六二・二八・五七	六二・二八・五七	六二・二八・五七	六二・二八・五七	六二・二八・五七	六二・二八・五七	三	二〇・二四
退職給付	六四・一・四四・〇	六二・一・七八・三	五九・二・五四・九・六	八五・六・三・八一	五九・二・五四・九・六	五九・二・五四・九・六	五九・二・五四・九・六	六四・一・四四・〇	六四・一・四四・〇	三	六九・四五
遺族給付	一四一・六五・六八	一四二・六五・六八	一四三・六五・六八	一四四・六五・六八	一四五・六五・六八	一四六・六五・六八	一四七・六五・六八	一四八・六五・六八	一四九・六五・六八	三	一九七・八七
拂戻金納	七・四五	四・七三	一八・二五	九・〇九	六・〇二	二・六〇	二・六〇	七・二三	七・二三	三	一・九五

平均	昭和五年度	昭和六年度	昭和七年度
平均	一〇六・四	一〇九・三	一一五・七
	二四・三〇	二二・六六	三三・八九
	二四・四	二七・五八	二六・四三
	二二・六四	三三・三二	三三・三三
	七九・七〇	一四一・七七	一〇七・七七
	一九九・五六	一九六・〇一	二〇五・二二
	二・四〇	二・六	二・四二

第六 資産及負債

資産の部

預金	二六三、五五六・六五
定期預金	三、〇七九、〇〇〇・〇〇
信託預金	三〇〇、〇〇〇・〇〇
有價証券	一、二四五、六四〇・四〇
未收金	九二、四一四・二八
計	四、九八〇、六一一・三三

負債の部

責任準備金	三、九二六、二八四・一二
借入金	一三〇、〇〇〇・〇〇
未拂金	九、六〇六・〇八
豫備金	九一四、七二一・一三
計	四、九八〇、六一一・三三

備考 一、未收金は政府給與金、組合員掛金及収入利息の受入未済額なり
 二、借入金は第三回五分利國債購入資金充當の爲め銀行定期預金を擔保として借入れしものなり
 三、未拂金は支拂額決定せるも支拂未済の各給付金及借入金に對する支拂未済利息なり

第七 收入

本年度に於ける組合の總收入は九十七萬六千八百八十三圓十八錢にして之を月別各科目別に示せば左表の如し

共済組合収入月別科目別表 (昭和七年度)

月別	科目別	政府給與金	組合員掛金	収入利息	雑収入	合計
昭和七年四月		二六、七五・八三	三、九〇・六五	七、五七・八一		六六、三三・二九
同五月		二六、四三・三三	三、三六・四四	二二、二八		五八、九六・〇五
同六月		二六、三九・六五	三、四三・六三	一、三三・七七		五九、九六・〇五
同七月		二六、八三・一九	三、七九・五六	一九、四三・三		七九、〇八・八七
同八月		二六、五九・五四	三、七九・五六	五、七五・八三	三八五・二五	六五、四三・七三
同九月		二六、五六・六六	三、七六・三三	二七、二九・七九		八六、五四・七七
同十月		二六、七七・六六	三、七三・一七	四七、九六・六〇		一〇七、四七・四五
同十一月		二六、八三・二二	三、九二・九四	七〇・〇〇		六〇、四七・一七
同十二月		二七、二六・六六	三、三六・六九	二、八五・〇〇		六三、六八・三五
昭和八年一月		二六、八七・五九	三、二八・五六	三、三三・〇〇		九七、九四・二六
同二月		二六、九〇・六九	三、三六・二六	九七、八四・四		六七、七三・一五
同三月		三〇、三九・六六	三、九四・〇一・三九	二五、九六・八八	三五・三五	一五八、〇〇・九六
合計						九七〇、六三・一八

更に組合創設以降各年度別科目別に見るに左表の如し

共済組合収入年度別科目別表

年度別	科目別	政府給與金	組合員掛金	収入利息	雑収入	合計
大正十四年度		二四三、九九・七四	二九六、八四・五七	二二、七六・一八		五五五、〇〇・九九
昭和元年度		二四五、九八・四九	二九八、〇九・九一	四三、〇七・五五		五八七、〇七・九五
昭和二年度		二六〇、八三・三三	三二六、三九・六四	七三、九四・八二		六六一、〇七・七七
昭和三年度		二八二、八五・一〇	三四四、〇七・一〇	一〇七、二九・三〇	二五・〇〇	七三三、二一・五〇
昭和四年度		三二六、〇六・三三	三八二、二五・九八	一四三、一四・八四		八四一、四六・〇〇
昭和五年度		三三三、九九・〇六	三九四、二四・六六	一八五、二四・九三		九〇三、四八・〇五
昭和六年度		三三九、六六・四五	三九三、四〇・七五	二六、六六・八〇		九三九、七五・〇〇
昭和七年度		三三〇、三七・六六	三九四、〇〇・三九	二五五、九六・八八	三八五・三五	九七〇、六三・一八
合計		二、三三二、六五・〇六	二、八〇〇、八七・五〇	一、〇七三、五三・三〇	四〇〇・八五	六、一八〇、八七・七一
前年度比較増△減		七五・二二	五八・〇四	二九、二五・〇八	三五九・三五	三〇〇、九三・一八

第八支 出

本年度に於ける組合の總支出は二十四萬一千八百三十五圓三十六錢にして月別各科目別左表の如し



第九收支勘定

本年度に於ける組合の收支計算左の如し

前年度繰越金	四、一、二、一五七・四三		
組合員掛金	三九四、〇〇一・三九		
政府給與金	三二〇、三七九・六六		
収入利息	二五五、九一六・八八		
雑収入	三八五・二五		
合計	五、〇八二、八四〇・六一		
支出			
公傷年金		五、八〇七・〇〇	
公傷一時金		三、六九五・二〇	

系	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
運輸系	三〇五一	八四、一五、三	四五一	二、三六、九	三、〇九六	八三、四三、二	七	一五、〇七、九	二九	三、八〇、五	三六	五、八九、三
工務系	四、四四一	二四、三三、九	二〇	八、五四、五	四、六四一	一、三三、七	九八	一七、四九、三	五六	九〇、八四〇、八	六六	〇、八三、七
工場系	一、九五〇	五三、二七、七	二	四七〇、二	一、九五三	五三、六八、六	二	三、八七、三	八	一、四一、五	二〇	一、五、三
合計	一四、五八三	五八、四二、八	一八六	九、七〇、九	四、七四三	一、六四、〇	三六	二〇、八八、六	三九	一、八、四	一六	二、四、三

六四

調表 (昭和八年三月三十一日現在)

年	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額
四年	三三	三、七五、七	三三	二、三三、五	五四	二、四一、三	六	一、二九、六	四九	八、七九、二	四	八七、九二、七
三年	一	一八四、六八	一	一五三、八九	一	一、二九、六	一	一、二九、六	一	一、二九、六	一	一、二九、六
二年	三三	三、九三、六	三三	二、三三、五	五四	二、四一、三	六	一、二九、六	四九	八、七九、二	四	八七、九二、七
一年	三三	三、九三、六	三三	二、三三、五	五四	二、四一、三	六	一、二九、六	四九	八、七九、二	四	八七、九二、七
合計	七二	一三、〇三、六	七二	四、〇三、六	一〇八	七、〇三、六	一〇八	七、〇三、六	一〇八	七、〇三、六	一〇八	七、〇三、六

現在組合員加入年數別責任準備金調表 (昭和八年三月三十一日現在)

所屬	加入年數		八 年		七 年		六 年		五 年		四 年		三 年		二 年		一 年		合 計			
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額	人員	金額		
庶務系	計	一五五	六五,一五五・五〇	三〇	七,九〇六・三六	二五	四,四七二・〇九	四	一八四・六四	一	六,〇七二・三五	三	三,〇六六・四三	三	二,七六四・一	五	二,四〇三・三八	六	一,二九六・六一	四三	九三,七八〇・三	
	甲	一四八	六二,一三四・七三	二九	七,三六八・六〇	二四	四,二七六・四五	一	一八四・六四	一	一八四・六四	一	一八四・六四	一	一五三・八九	一	二,四〇三・三八	一	一,二九六・六一	四二	八七,九〇一・七四	
營業系	計	一,七八六	七〇六,〇八一・八四	五五	六〇,二五〇・九八	三九	六八,八五九・九三	四	六,六七八・九七	一	三,三六三・九	三	三,八七二・〇九	一	一九七・九一	三	一六,〇三九・三八	三	五,三〇四・七四	四	九七,七六四・〇三	
	甲	一,〇五	六三,四七五・七九	一	四七・三四	一	四七・三四	一	四七・三四	一	四七・三四	一	四七・三四	一	四七・三四	一	四七・三四	一	四七・三四	一	四七・三四	三
運轉系	計	一,五五四	六三三,〇〇五・七	三	二,四四六・〇三	二	一,〇〇〇・〇〇	三	五五,〇三六・六一	三	七,五三二・三	三	二,七〇一・〇	一	二七・〇一	一	二八・五六	一	四,〇四一・四四	三	八四一,一五五・二二	
	甲	一,五五四	六三三,〇〇五・七	三	二,四四六・〇三	二	一,〇〇〇・〇〇	三	五五,〇三六・六一	三	七,五三二・三	三	二,七〇一・〇	一	二七・〇一	一	二八・五六	一	四,〇四一・四四	三	八四一,一五五・二二	
工務系	計	二,一〇四	八七,五三三・八〇	三	七,〇四〇・〇六	一	一八・七〇	一	一八・四四	一	一八・四四	二	三〇・六五七	二	二七・〇四	一	一七・三六・六九	一	七,〇九五・三六	四	八四四,一三四・五九	
	甲	二,一〇四	八七,五三三・八〇	三	七,〇四〇・〇六	一	一八・七〇	一	一八・四四	一	一八・四四	二	三〇・六五七	二	二七・〇四	一	一七・三六・六九	一	七,〇九五・三六	四	八四四,一三四・五九	
工場系	計	一,一〇四	四四七,三六九・三	九	二五,四四一・五	七	一六,四五・八四	二	四,五三三・六六	一	一,三三・七〇	一	一,〇〇・〇〇	一	一,〇〇・〇〇	一	一,〇〇・〇〇	一	一,〇〇・〇〇	二	四四七,三六九・三	
	甲	一,一〇四	四四七,三六九・三	九	二五,四四一・五	七	一六,四五・八四	二	四,五三三・六六	一	一,三三・七〇	一	一,〇〇・〇〇	一	一,〇〇・〇〇	一	一,〇〇・〇〇	一	一,〇〇・〇〇	二	四四七,三六九・三	
合計	計	七,〇三二	七,八八五・〇	八	八五,一〇八・六四	二	一,二八二・九八	一	六,〇三二・〇三	一	一,二八二・九八	一	一,二八二・九八	一	一,二八二・九八	一	一,二八二・九八	一	一,二八二・九八	一	一,二八二・九八	
	甲	六,八八五	六,八八五・〇	七	七,〇〇〇・〇〇	一	一,〇〇〇・〇〇	一	一,〇〇〇・〇〇	一	一,〇〇〇・〇〇	一	一,〇〇〇・〇〇	一	一,〇〇〇・〇〇	一	一,〇〇〇・〇〇	一	一,〇〇〇・〇〇	一	一,〇〇〇・〇〇	

第十一 組合財産の管理

本年度末に於ける組合の總財産は收入未済金を合し四百九十八萬六百十一圓三十三錢にして其の管理狀況左の如し

一、預金	二六三、五五六・六五
共済組合貯金部へ預入す	
二、定期預金	三、〇七九、〇〇〇・〇〇
内 譯	
朝鮮銀行	一、〇三〇、〇〇〇・〇〇
朝鮮商業銀行	九七三、〇〇〇・〇〇
漢城銀行	九七六、〇〇〇・〇〇
東洋拓殖株式會社京城支店	一〇〇、〇〇〇・〇〇
三、信託預金	三〇〇、〇〇〇・〇〇
朝鮮信託株式會社へ信託す	
四、有價證券	一、二四五、六四〇・四〇

五分利國庫債券(第三回)額面	一、三〇〇、〇〇〇・〇〇
購入 入 價 額	一、二四五、六四〇・四〇
五、未 收 金	九二、四一四・二八
内 譯	
政府給與金未收額	二六、九〇六・二九
組合員掛金未收額	七七五・八九
収入利息未收額	六四、七三二・一〇

第十二附帶事業

一、貯 金 部

本部は組合員竝に一般従業員に貯蓄の美風を奨励して恒産を作り漸次其の經濟の發達を圖り以て生活を安定ならしめ一面其の思想を堅實ならしむる目的の爲に施設せられたるものなり

貯金の種類は普通貯金及据置貯金の二種とし普通貯金の内には従業員の團體貯金をも取扱ふことを得ることとせり拂戻の場合は死亡、退官、退職、休職、他官

應に轉勤又は團體貯金の外常時一圓以上を殘すことを要し据置貯金に在りては上述の場合若くは非常災厄其の他之に準すべき事由に因り生計上窮迫を受けたるときの外拂戻を許さるることに制限を附せり

利息は預入の當日より拂戻の前日迄死亡、退官、退職又は他官應に轉勤せる場合は當日迄(附し毎年三月末日及九月末日を以て區切り元加計算し複利の方法を採れり)利率は従來普通貯金一錢四厘据置貯金二錢なりしを昭和四年度始めより据置貯金のみ一錢七厘に改定したり

年度中の貯金受入總額は件數三十七萬二千七百四十一件金額一千四百二十二萬六千二百二十八圓三十一錢拂戻件數三萬五千四百三十五件金額一千七百二十五萬三千四百四十一圓八十九錢にして結局口數に於て三百十五口の増加金額に於ては三百二萬七千三百三十三圓五十八錢の減少を示し年度末現在口數二萬七千三百六十七口金額八百萬七千四百十圓九錢となれり、本年度末現在職員一人當平均貯金額は普通貯金七十七圓三十二錢据置貯金四百十五圓六十九錢にして之を前年度末現在と比較するとき普通貯金に於て九圓一錢減少し据置貯金に於ては五十二圓二十七錢の増加を示せり

本年度の損益状況を観るに利益としては収入利息、雑収入を合し四十七萬八千三百六十三圓四十一錢損失としては支拂利息、雑費を合し四十六萬二千二百二十三圓六十七錢差引当期利益金一萬六千二百三十九圓七十四錢を得之に前年度繰越利益金三萬三千二百二十二圓八十九錢を加へ總額四萬九千三百六十二圓六十三錢は即ち本年度の剰餘金として全額翌年度に繰越すこととせり

資金の運用に就ては最も有利確實の方法を講ずることに努め其の大部分を消費部、投産部、金融部、京東鐵道、南朝鮮鐵道、新興鐵道及龍山工作株式會社に事業資金として融通し、剰餘は殆んど銀行預金とせり

貯金部預り金状況表 (昭和七年度)

種別	前年度末現在		本年度		本年度末現在	
	口數	金額	件數	金額	口數	金額
庶務系	73	127,797.74	86	39,558.40	78	110,444.55
營業系	2,966	1,787,812.14	2,118	1,974,895.95	3,056	1,537,194.66
運轉系	2,477	2,746,000.00	2,066	2,676,299.29	2,599	2,779,662.33
平均口當額						

合計	普通貯金		職員貯金		合計
	共済組合各部預金	小計	共済部	工場系	
計	10,478	5,011,492.33	1,000	29,621.99	11,478
据置貯金	766	43,333.95	55	7,660.00	821
計	11,244	5,054,826.28	1,055	37,281.99	12,299
庶務系	766	43,333.95	55	7,660.00	821
營業系	5,133	2,098,812.96	373	76,733.00	5,506
運轉系	3,333	1,377,300.45	282	54,889.33	3,615
工場系	5,192	1,651,776.76	348	87,999.66	5,540
合計	21,707	9,077,737.44	1,435	113,572.99	23,142
平均口當額					

内鮮人別預り金調表 (昭和八年三月末日現在)

貯金別	系統別	内鮮人別		合計
		内地人	朝鮮人(外國人ヲ含ム)	
普通貯金	庶務系	四四七	二六二	七〇九
	營業系	二,〇〇六	一八,三七二	二〇,三三八
	運轉系	一,七六五	三,九八八	五,七五三
	工場系	一,八四四	七,〇七五	八,九一九
	計	六,九六二	二九,一七二	三六,一三四
	一人當平均額	—	—	—
据置貯金	庶務系	六〇〇	一四九	七四九
	營業系	三,一四四	一六,〇五九	一九,二〇三
	運轉系	二,二三四	一四,七三六	一六,九七〇
	工場系	二,二〇二	三,五九六	五,七九八
	計	九,二六六	三三,四三〇	四二,六九六
	一人當平均額	—	—	—
合計	庶務系	一,〇七七	二〇,七六三	二一,八四〇
	營業系	五,三〇〇	一七,八九三	二三,一九三
	運轉系	四,〇三九	一七,九三三	二一,九七二
	工場系	四,〇六六	一〇,五九二	一四,六五八
	計	一五,四九二	五二,一八一	六七,六七三
	一人當平均額	—	—	—

貯金預入拂出額年度別表

年度別	普通貯金		据置貯金		合計	
	預入	拂出	預入	拂出	預入	拂出
大正十四年度	七四,四六九,七七八	二五,五六七,七四七	二六,八八二,四五三	二,四九九,五三三	一〇一,三五一,二三一	二七,六五八,二七〇
昭和元年度	七三,〇〇一,五五三	二五,五五七,五二二	二六,九七〇,一三三	二,〇〇六,三三三	一〇〇,〇〇一,八八六	二五,五六三,八五五
昭和二年度	七九,〇三二,〇三三	二六,八八九,五〇〇	二七,〇五二,四八〇	三,九一一,五三三	一〇六,〇八四,五一三	二九,四七三,九八八
昭和三年度	九五,九五二,六八〇	二六,五三二,〇三三	二七,六六四,一七〇	六,六七二,三三六	一二二,六二四,八〇〇	三二,一四六,五〇六
昭和四年度	一〇八,二八二,五六八	二六,五二一,八〇〇	二九,九八四,八〇〇	九,〇〇八,二二二	一三八,二六四,〇六八	三六,〇五二,〇三〇
昭和五年度	一一三,九五三,〇三三	二〇,五〇二,三〇〇	三三,四九二,四六二	二,七七一,八六六	一四六,七四五,四九五	三九,二七〇,九〇一

前期繰越金	三三、一二二・八九 ^四
当期利益金	一六、二三九・七四
合計	八、〇五六、七七二・七二

七六

貯金部損益計算表 (昭和七年度)

(利益の部)

収入利息	四七八、三五三・四一
雑収入	一〇・〇〇
合計	四七八、三六三・四一
(損失の部)	
支拂利息	四六二、〇八四・七三
雑費	三八・九四
合計	四六二、一二三・六七

差引当期利益金	一六、二三九・七四 ^四
前期繰越利益金	三三、一二二・八九
合計	四九、三六二・六三

利益金處分

右利益金は全額次期に繰越す

備考 雑収入は貯金通帳再交付手数料

貸付金並有價證券内譯表 (昭和八年三月三十一日現在)

消費部	三八〇、〇〇〇・〇〇 ^四
授産部	一一五、〇〇〇・〇〇
金融部	二一五、〇〇〇・〇〇
京東鐵道株式會社	四七〇、〇〇〇・〇〇
南朝鮮鐵道株式會社	三、二〇〇、〇〇〇・〇〇
新興鐵道株式會社	六四〇、〇〇〇・〇〇

七七

龍山工作株式会社
 朝鮮鐵道株式会社、株式
 朝鮮京南鐵道株式会社、社債

一五一、四八九・九二
 四九、九四五・五〇
 九九、七八〇・〇〇
 合 計 五、三二一、二一五・四二

二、金融部

金融部は組合員又は一般従事員にして疾病其の他非常災厄に遭遇し生計上窮迫を受けたる場合低利融通を爲し其の生活をして安定ならしむる目的を以て施設せられたるものなり
 貸付資金としては組合より年六分の率にて融通を受け之に充て一人當貸付額の限度は特別の事情に因り特に其の必要ありと認めたるもの、外月收の三箇月分以内とし貸付の翌月より一定期間内に月賦辨済の法を採れり利息は從來組合員に對しては日歩一錢八厘組合員外の職員に對しては日歩二錢一厘なりしを昭和七年十二月二十二日より組合員日歩一錢七厘組合員外一錢九厘に改定し貸付の當日より辨済の當日迄附するものとす
 本年度中に於ける金融部業績を観るに貸付たる口數一千五百六十三口金額二

十五萬六千六百四十五圓一口平均貸付額百六十四圓二十錢に當り年度末現在貸付人員二千三百八十五人金額二十二萬一千百三十九圓六錢にして一人當平均額九十二圓七十二錢となり利益は收入利息一萬七千九百十三圓十四錢損失は支拂利息一萬四千七百十六圓十一錢にして差引三千百九十七圓三錢の剰餘金を得前期繰越利益金一萬九千百三十五圓四十九錢を合し總額二萬二千三百三十二圓五十二錢は全部翌年度に繰越すこととせり

金融部貸付状況表 (昭和七年度)

種別	人員及金額		前年度末現在貸付		本年度末現在貸付		一人平均額
	人員	金額	人員	金額	人員	金額	
組合員	二、三九	一九、二五五・四五	一、四九	二二、一〇〇・〇〇	二、一五	一七、〇七五・〇〇	八〇・五
非組合員	二二七	五三、二四〇・〇〇	一、四四	四五、五三〇・〇〇	二、三三	四七、〇〇〇・〇〇	二〇一・一〇
合計	二、六一六	七二、四九五・四五	二、九三	六七、六三〇・〇〇	四、四八	六四、〇七五・〇〇	一四六・二〇

備考 返済人員中括弧を附したるは返済完了せるものを、然らざるは返済回数を人員として表したるものなり
 年度末現在貸付高は年度中組合員非組合員中相互異動せしものある爲總て實際を掲ぐることにせり

金融部貸付金借用事由別調表

事由	庶務系		営業系	
	組合員	非組合員	組合員	非組合員
	件数	金額	件数	金額
本人傷病治療に因るもの	三	一、九七〇・〇〇円	五	一、六〇〇・〇〇円
家族傷病治療に因るもの	五	八、四〇〇・〇〇	三	一〇、九〇〇・〇〇
天災地變の災害に因るもの	一	—	一	四〇〇・〇〇
其他	九	一、七三〇・〇〇	一	三、九〇〇・〇〇
合計	十九	一二、一〇〇・〇〇	五	一六、八〇〇・〇〇

金借用事由別調表 (昭和七年度)

件数	營業系		運轉系		工務系		工場系		合計	
	組合員	非組合員	組合員	非組合員	組合員	非組合員	組合員	非組合員	組合員	非組合員
五	七,九七五.〇〇	一	三,五〇〇.〇〇	一	二,四七〇.〇〇	一	四,〇〇〇.〇〇	一	一,五〇〇.〇〇	一
六	八,〇五五.〇〇	二	四,〇〇〇.〇〇	二	三,八〇〇.〇〇	一	四,〇〇〇.〇〇	二	一,五〇〇.〇〇	二
四	三,〇〇〇.〇〇	一	三,〇〇〇.〇〇	一	三,〇〇〇.〇〇	一	三,〇〇〇.〇〇	一	一,〇〇〇.〇〇	一
三	〇.〇〇	一	〇.〇〇	一	〇.〇〇	一	〇.〇〇	一	〇.〇〇	一
五	七,九七五.〇〇	一	三,五〇〇.〇〇	一	二,四七〇.〇〇	一	四,〇〇〇.〇〇	一	一,五〇〇.〇〇	一
六	八,〇五五.〇〇	二	四,〇〇〇.〇〇	二	三,八〇〇.〇〇	一	四,〇〇〇.〇〇	二	一,五〇〇.〇〇	二
四	三,〇〇〇.〇〇	一	三,〇〇〇.〇〇	一	三,〇〇〇.〇〇	一	三,〇〇〇.〇〇	一	一,〇〇〇.〇〇	一
三	〇.〇〇	一	〇.〇〇	一	〇.〇〇	一	〇.〇〇	一	〇.〇〇	一
合計	一,五九三,五五五.〇〇	一,五九三,五五五.〇〇	一,五九三,五五五.〇〇	一,五九三,五五五.〇〇	一,五九三,五五五.〇〇	一,五九三,五五五.〇〇	一,五九三,五五五.〇〇	一,五九三,五五五.〇〇	一,五九三,五五五.〇〇	一,五九三,五五五.〇〇

融通金貸付並辨済年度別表

年 度 別	貸		付		返 済 額
	人 員	金 額	一 人 平 均 額	(件 完 済 人 員) 数	
大正十四年度	七五	一五、八三〇・〇〇	二八・三〇	五、九一	六六、九三・四三
昭和元年度	一、〇〇	三三、三三〇・〇〇	二〇八・七四	七、五三	八五、七五三・五〇
昭和二年度	一、〇〇	二六、七三三・〇〇	二五六・九五	一七、四九	二〇五、七〇・五五
昭和三年度	一、一七	三九、〇五六・〇〇	二七二・〇七	一〇、二九	二七八、〇三・五〇
昭和四年度	一、四〇	三八、〇三八・〇〇	二七四・五〇	一三、〇七	三三三、六四九・〇〇
昭和五年度	一、七三	三五、七九〇・〇〇	二〇五・〇四	一七、七八	四四三、九二・五〇
昭和六年度	一、六七	二八、四八八・〇〇	一七四・八六	一六、四〇	二九九、六五三・三五
昭和七年度	一、五三	二五、六四五・〇〇	一六四・〇〇	一五、五五	二〇〇、一七・〇九
前年度比較増△減	△ 六四	△ 二七、八三三・〇〇	△ 一〇・六六	(七、五五)	△ 一九、五三六・三六

金融部貸借対照表 (昭和八年三月末日現在)

借方 (資産の部)

貸付金

二二一、〇五七・〇六

八三

預金	八四
合計	一六、二七五・四六 ^円 二三七、三三二・五二

貸方 (負債の部)

資	二一五、〇〇〇・〇〇
前期繰越金	一九、一三五・四九
当期利益金	三、一九七・〇三
合計	二三七、三三二・五二

金融部損益計算表 (昭和七年度)

(利益の部)

収入利息	一七、九一三・一四
支拂利息	一四、七二六・一一

差引当期利益金	三、一九七・〇三 ^円
前期繰越利益金	一九、一三五・四九
合計	二二、三三二・五二

利益金處分

右利益金は全額翌年度へ繰越す

三、消費部

消費部は組合員並に一般従事員に對し日常生活必需品を低廉に供給し惹て家計緩和を圖る目的の爲に施設せられたるものなり
本部を龍山に置き全線主要地に配給所を設け且つ邊陲の地に在住する従業員の爲に毎月配給車を運行して生活用品購入の便を圖りつゝあり
事業資金は共済組合貯金部より八十五萬圓を限度として年六分の利率を以て融通を受けたるものを之れに充つ其額前年度末現在三十七萬五千圓にして年度内借入額二百十萬圓同返済額二百九萬五千圓にして本年度末現在三十八萬圓となれり

本年度に於ける物品購入總額三百十四萬一千七百七十圓配給高三百四十八萬九千五百七十九圓配給人員一萬五千七百三十三人一人當一箇年平均配給高約二百二十一圓七十九錢同一箇月平均約十八圓四十八錢にして之れを前年度に比すれば配給人員に於て九百七十九人の減少を配給高に於て三十萬一千六百九十三圓一人當に於て一箇年平均四十七圓七十四錢の増加を示せり
 本年度業績は次の如し

消費部貸借對照表 (昭和八年三月三十一日現在)

借方 (資産の部)	
本部物品	九四、五三三・〇八
配給所物品	二八八、〇九四・三四
配給車物品	六、六一四・九二
未收金	四〇三、三二四・九三
銀行預金	四、〇〇三・三八
振替貯金	一〇〇・〇〇
合計	八、四二六・九八

地方送金	八、四二六・九八
假拂金	一、六二八・八一
什器	四、八六一・四九
合計	八、四二六・九八

貸方 (負債の部)

借入金	三八〇、〇〇〇・〇〇
假受金	三七〇・四〇
未拂金	一四一、二七五・〇八
身元保證金	二八、八一〇・二三
受入保證金	三〇〇・〇〇
缺損補填準備金	二〇五、九五〇・六四
從業員退職手當	二六、一七五・〇〇
積立金	三、四七八・一七
當期利益金	七、八七六・一八

繰越金
合計

八八
一七、二六二・二三^四
八一、四九七・九三

消費部損益計算表

(昭和七年度)

(利益の部)

収入利息
雑収入
副生品収入
割掛収入
雑益
合計

七四・三七
三、四九三・二五
三、五〇九・九七
三二九、六四九・〇七
三、三六二・九七
三四〇、〇八九・六三

(損失の部)

諸給與金

一六二、二四一・一五

諸経費
支拂利息
鐵道運賃
石炭諸掛
關稅運賃諸掛
雑損
雑費
合計
差引当期利益金
前期繰越利益金
合計

二二、八四〇・二八^四
三二、六七一・六一
七六、七六〇・九八
一一、七八八・六二
九、一八七・〇三
一三、三一九・〇七
三、四〇四・七一
三三二、二一三・四五
七、八七六・一八
一七、二六二・二三
二五、一三八・四一

利益金處分

右利益金は全額翌年度へ繰越す

箇所別配給額表 (昭和七年度)

所名	白米	雑穀	酒類	煙草	薪炭	雜品	石炭	副生品	計
本部	八、六〇〇	二、九〇〇	一、三三三	五〇、〇〇〇	一、三三三	一、三三三	三、九三三	二、九三三	二六、七三三
配給車	—	—	—	—	—	—	—	—	—
龍城	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
京門	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
西大	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
錦町	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
京城工場	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
仁川	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
草梁	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
馬山	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
大邱	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
慶州	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
大田	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
裡浦	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
木浦	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三
新幕	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三	一、三三三

九〇

平壤	定州	新義州	福溪	元山	咸興	新青	清津	會寧	雄基	計	對前年度比
七五、九三三	二一、三三三	一八、五五五	一六、三三三	三七、六六六	二一、六六六	一三、四四四	四〇、二二二	三三、四四四	二八、七七七	一、〇〇四、九九〇	一六八、四二一・八八
五、九三三	二、三三三	九、五五五	四、三三三	一、一三三	二、六六六	二、八八八	一、九三三	九、七三三	四、七三三	五八、四七三・二六	一九、〇〇四・一五
七、四四四	四、七三三	三、九三三	六、〇〇〇	三、五五五	六、六六六	一、〇〇〇	一、一三三	八、〇〇〇	四、四六六	九、二六六・九九	九、二六六・九九
九、〇七三	二、八八八	二、〇〇〇	一、九三三	四、三三三	二、七三三	三、四四四	三、五五五	四、五五五	二、三三三	二、九三三・〇〇	二、九三三・〇〇
五、四三三	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△九、〇七三・三六	△九、〇七三・三六
二、一三三	七、九三三	三、三三三	五、九三三	七、〇〇〇	五、九三三	六、四四四	四、八八八	八、三三三	五、三三三	六三、〇〇六・五二	一一、二三八・七五
三、九三三	三、二七三	三、五五五	三、三三三	三、〇〇〇	三、三三三	一、〇〇〇	一、一三三	一、二三三	一、三三三	△五、八八八	△五、八八八
一、〇〇〇	六、五五五	五、〇〇〇	一、一三三	三、三三三	三、三三三	—	—	—	—	△八、〇〇九・四八	△八、〇〇九・四八
三、一三三	一、〇〇〇	六、三三三	一、一三三	三、三三三	三、三三三	—	—	—	—	三、七三三・七三	三、七三三・七三

四、授産部

授産部は組合員の家族に業を授け生活の安定を得せしむる目的を以て施設せられたるものにして裁縫部、印刷手工部、編物部、洗濯部の各部に分ち主として局用被服類、帳表類、乗車券類の製作を行ひ兼ねて一般従業員の需に應ずるもの

九一

とす
 事業資金は之を共済組合貯金部より年六分の利率を以て融通を受く其の額前
 年度末現在十萬五千圓なりしが年度内更に一萬圓の融通を受け年度末現在拾
 壹萬五千圓となれり
 本年度に於ける業績左の如し

授産部貸借対照表 (昭和八年三月三十一日現在)

借方 (資産の部)	
貯藏品	二五、七九九・九二一
製修落成品	五五、五二六・〇五三
備品	三七、五七一・六七八
預金	三、九九四・五〇〇
未收金	八、九四九・七四〇
半成品	七、六二三・七九六
建造物	一六、三一四・七〇〇
前期繰越損失金	一、五六二・八四三
合計	一五七、三四三・二三一

貸方 (負債の部)

資本金	一一五、〇〇〇・〇〇〇
未拂金	二五、五九四・七五〇
積立金	一六、三一四・七〇〇
当期利益金	四三三・七八一
合計	一五七、三四三・二三一

損益計算表 (昭和七年度)

(利益の部)

製品収入	一六一、八三九・八三三
------	-------------

修理収入
雑収入
雑益

九、一〇六・二二〇^四
五六三・〇九〇
七九一・二〇〇
七九〇・二七七
一七三、〇九〇・六二〇

(損失の部)

給料
工費
諸手當
消耗品費
材料費
修繕費
旅費
通信運搬費

一九、二八九・二三〇
四一、二九五・五四〇
四、四一五・五〇〇
三、四二二・九七七
八三、二四四・五三〇
一、八一七・九六〇
三一・二〇〇
七五七・七八〇

支拂利息
雑費
雑損
營繕費
合計

六、五九五・七一〇
二、五六二・六八〇
八、一一四・九八二
一、一〇八・七五〇
一七二、六五六・八三九
四三三・七八一
一、五六二・八四三
一、一二九・〇六二

右損失金は全額翌年度へ繰越す

授産部業務別成績表 (昭和七年度)

種別	延人員	収入		支出		差引過△不足額
		製修代金	其他	材料工費	其他附帯費	
裁縫部	三三、一五三人	六八、三五五・七三三 ^四		七一、九五五・七〇〇 ^四		三、三〇〇・〇六八 ^四
印刷手工部	三三、四〇〇人	八七、三五五・九六八		八四、〇一・九九一		三、三三三・九七七
編物部	九、〇〇〇人	九、三三七・四八二		九、六五〇・七二四		三三三・三三三
合計						九五

洗	三、六〇〇	七、五三六・九〇〇	六、五三三・八八六	六、五三〇・七四〇
合	五八、一五三	一七三、一九六・三三三	一七二、七六三・三五二	四三三・七八一

九六

備考 本年度利益金は四三三、四七八の處前年度繰越損失金一、五六二、四八三を相殺し純損失金一、二九四、〇六二は翌年度へ繰越す



